

## 【P リゼロ鬼がかりver.】近接センサの清掃方法について

遊技盤の近接センサに異常があると考えられ、清掃および異物等の確認を行う場合、下記の手順にしたがってご実施いただくようお願いいたします。



### ○近接センサ搭載部品



遊技盤から上記の部品を取り外します  
(詳細は次ページ以降に記載)

### ○近接センサ



取り外した部品の近接センサの玉通過部を清掃します  
(詳細は次ページ以降に記載)

### ■事前にご用意いただくもの

#### ①プラスドライバー( # 1、# 2)



# 1プラスドライバー(標準よりひと回り小さいサイズ)

# 2プラスドライバー(標準サイズ)

#### ②エアダスター



#### ③作業用手袋



作業中は手袋を着用し、内部部品の角や縁などに注意してください。

また、未着用の場合、静電気等が原因で機械トラブルが発生する可能性があります。

### ■所要時間

1時間～3時間

→時間に余裕をもってご確認下さい

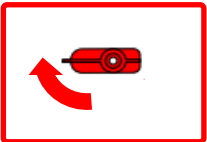
### ⚠️注意事項(必ずお読みください)

- 本手順書によって清掃等を行った場合、必ず『ラム異常(液晶表示：E00002)』が発生します。解除するためには**必ず設定変更が必要になります**。閉店後の実施を推奨いたします。
- 近接センサを清掃する際は、作業用手袋の着用をお願いいたします。  
**未着用での作業は事故(作業者のケガや機械故障)の原因となります。**
- 近接センサを清掃する際は、エアダスターをご使用ください。  
洗剤、溶剤、薬剤(アルコール含む)を使用したり、布等で強くこすりつけるような拭き取りは機械故障の原因となります。
- ロック付きのハーネスは、ツメを押しながら取り外してください。  
無理に取り外すと破損の原因となります。

## 1.遊技盤の取り外し




※盤面デザインは異なります。

**1**  フロントドアを開き、遊技盤左下部の「遊技盤ストップ」を右に回し、ロックを解除します。

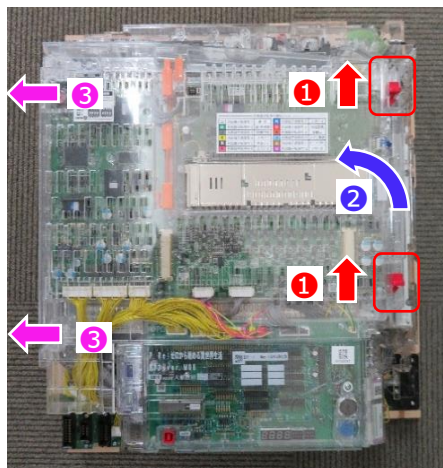
**2** 遊技盤右上部と右下部、**2か所の遊技盤押え**を上下からつまみ、ロックを解除します。



**3**  遊技盤の**右側を手前に引き出して**、**落下に注意しながら遊技盤を取り外し**、清掃作業を行ってください。

## 2.裏カバー、液晶制御基板、サブ制御基板の取り外し

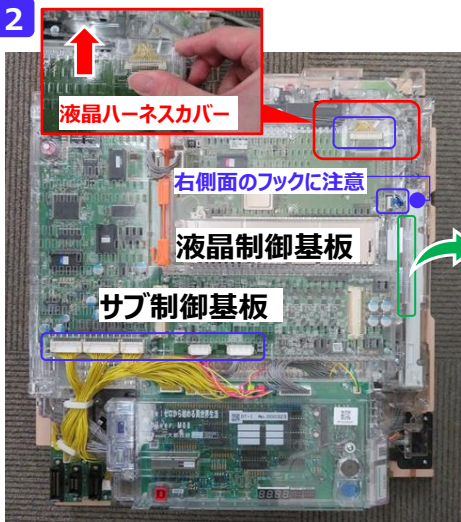
**1**



- ①裏カバーストップ(2箇所)を上方向へスライドさせます
- ②右側から約90°開きます
- ③裏カバーをヒンジから左にずらして取り外します

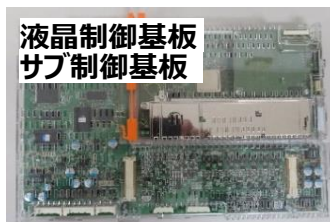


**2**

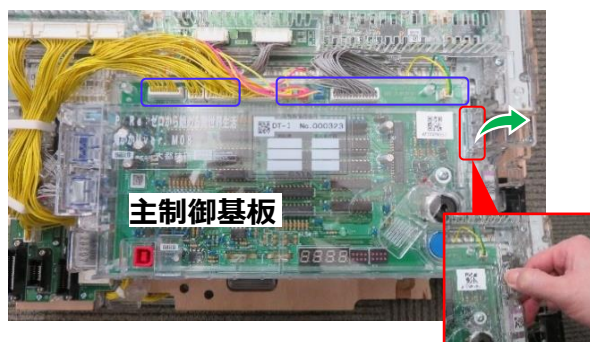


液晶制御基板右上部の**液晶ハーネスカバー**を押し込みながら上にずらして取り外し、**ハーネス(7か所)**を外します。

**右側面のツメ**を右に押し広げ、サブ制御基板と液晶制御基板を取り外します。



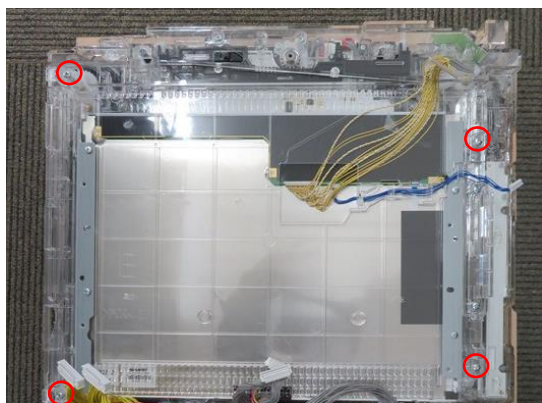
### 3.主制御基板の取り外し



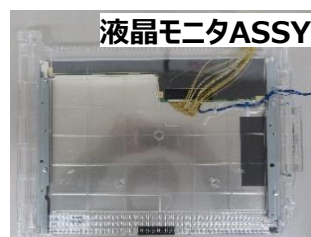
主制御基板の**ハーネス(8か所)**を外します。  
主制御基板を**右側面のツメ**を右に押し広げて  
取り外します。



### 4.液晶モニタASSYの取り外し

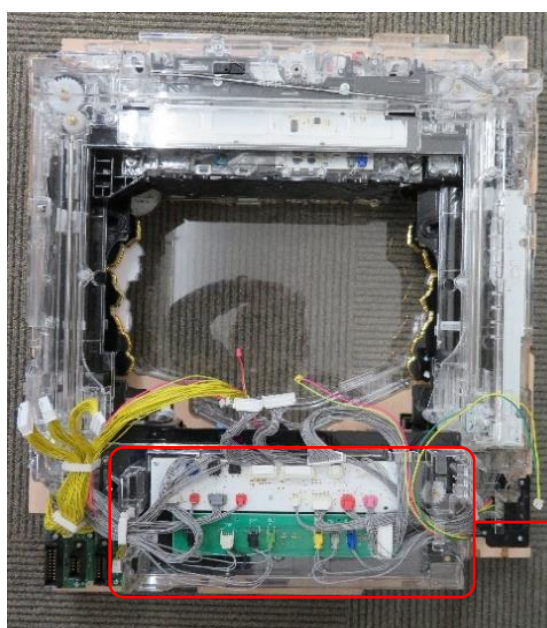


**ねじ(4か所)**を外し「液晶モニタASSY」を  
取り外します。

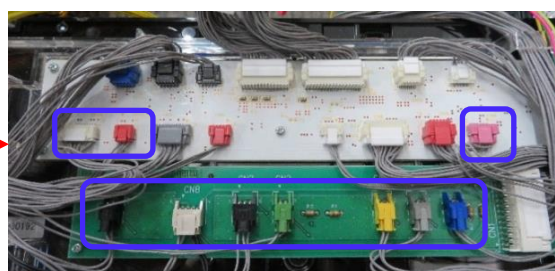


### 5.センタ役物裏の取り外し

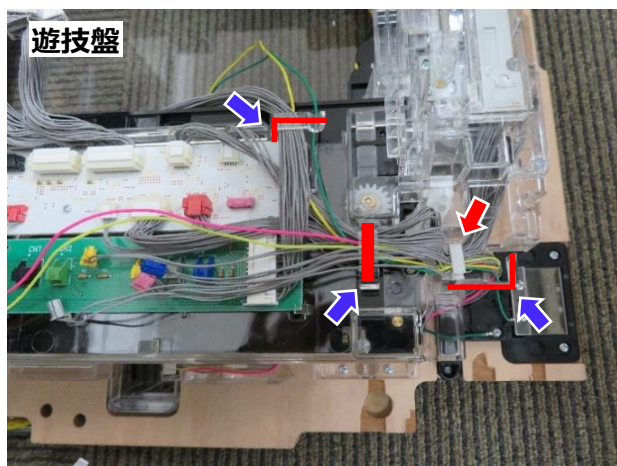
1



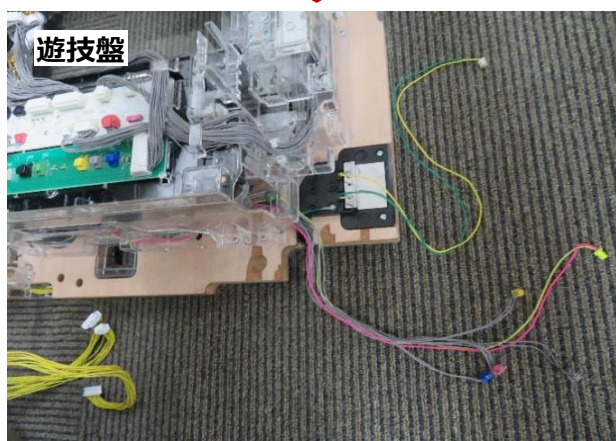
**ハーネス(10か所)**を外します。



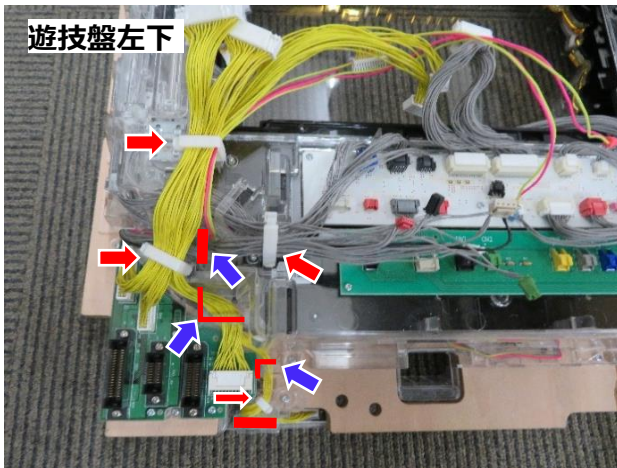
2



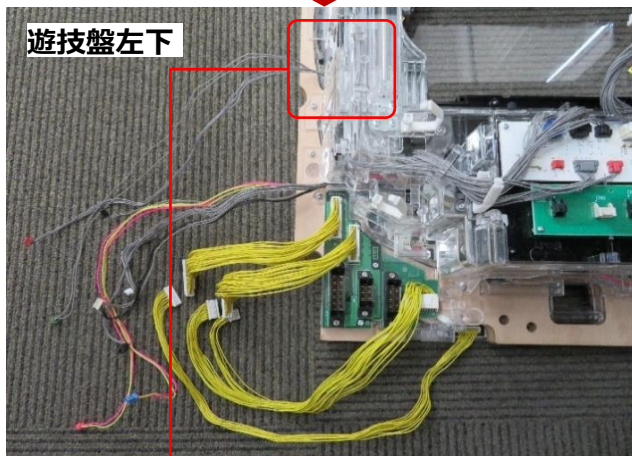
クランプ(1か所)を開け、  
フック(3か所)に配線されている  
ハーネス(6本)を遊技盤の外側へ逃がします。



3

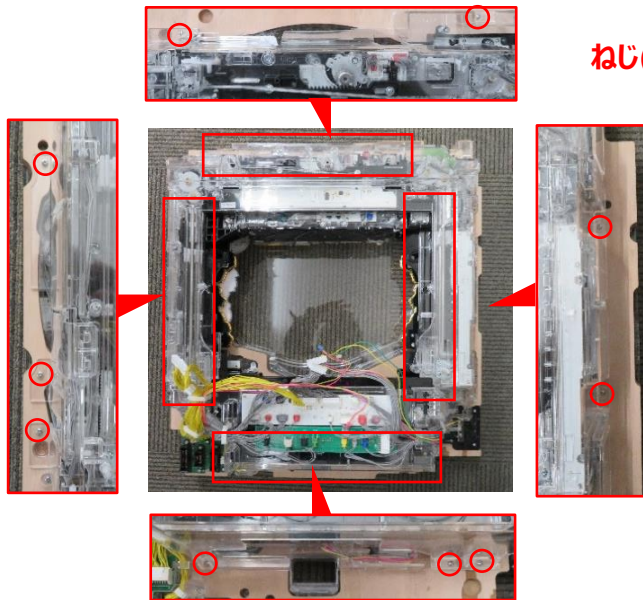


クランプ(4か所)を開け、  
フック(4か所)に配線されている  
ハーネス(12本)を  
遊技盤の外側へ逃がします



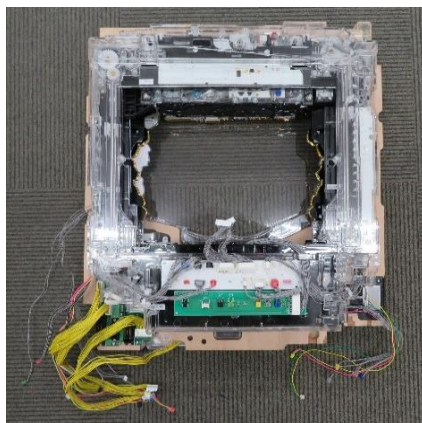
矢印のツメ(2か所)を押しロックを解除しながら、**ハーネスカバー**を上へずらして外します。  
さらにハーネス(2本)を遊技盤の外側へ逃がします。

4



ねじ(10か所)を外します。

5



ハーネスがフックやクランプに引かかっているか、外し忘れが無いか確認しながらセンタ役物 裏をゆっくりと真上に持ち上げて外します。



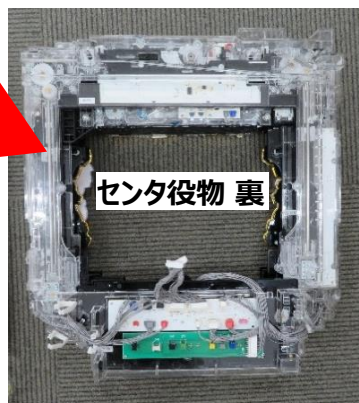
**破損・断線注意**

強引に『センタ役物 裏』を取り外すと

**破損・断線**するおそれがあります。

取り外し中に違和感を感じたら作業を中断し、

**ハーネス・クランプ・フック・ねじ**等を確認して下さい。



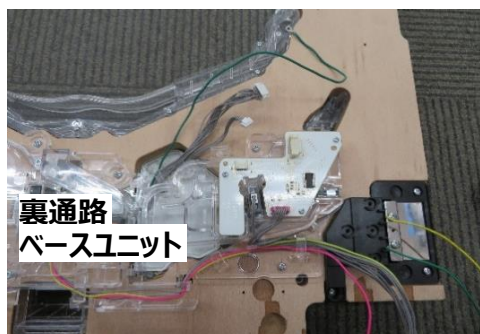
## 6.裏通路ベースユニットの取り外し

1

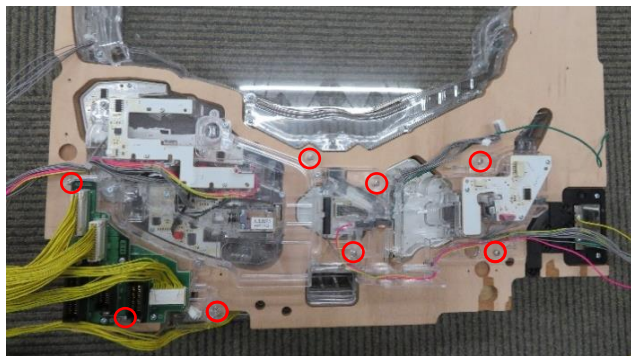


**ねじ(1本)**を外し、  
**フック(3か所)**に配線されているアースハーネスを  
裏通路ベースユニットの外側へ逃がします。

**ハーネス(2本)**を外し、  
裏通路ベースユニットの外側へ逃がします。



2



**ねじ(8本)**を外し、  
裏通路ベースユニットを取り外します。



## 7.アタッカASSYの取り外し



**アタッカASSYは、1～6までの手順を実施してからでなければ外せません。  
手順に従わないと故障の原因となりますのでご注意ください。**



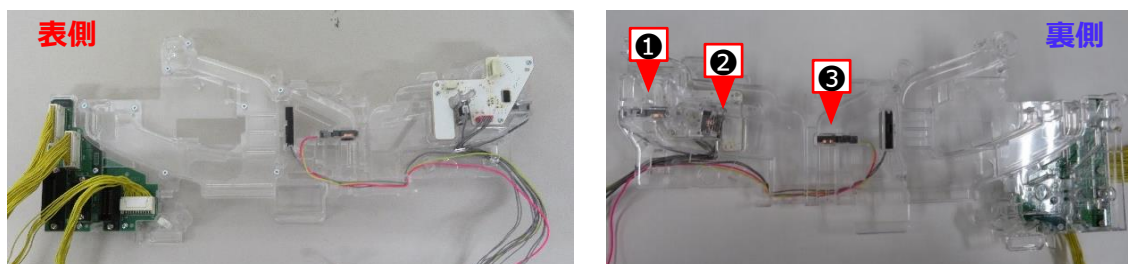
**ねじ(5本)**を外し、  
アタッカASSYを取り外します。



## 8.裏通路ベースユニットの清掃方法について

### ■近接センサの取り付け場所

近接センサは下記の3か所に搭載されています。



裏通路ベースユニット

### ■清掃手順と注意点



裏通路ベースユニットの裏側から  
近接センサの球通過部をエアダスターで清掃してください。



エアダスター側の注意書きを  
よくお読みになり、適切にご使用ください。



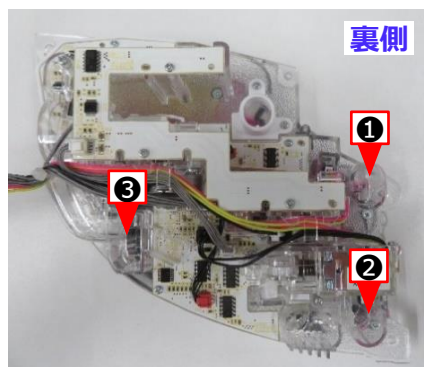
近接センサは精密部品となります。  
布等で強くこすったり、  
洗剤、溶剤、薬剤(アルコール含む)は  
絶対に使用しないで下さい。

球の通過を妨げるような異物があった場合はそれを取り除いて下さい。

また、破損等が確認出来た場合は部品交換を行って下さい。

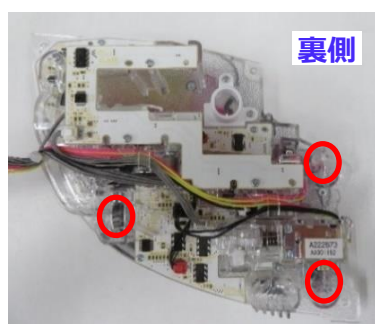
## 9.アタッカASSYの清掃方法について

### ■近接センサの取り付け場所(3か所)



アタッカASSY

### ■清掃手順と注意点



アタッカASSYの裏側から  
近接センサの球通過部をエアダスターで清掃してください。



エアダスター側の注意書きを  
よくお読みになり、適切にご使用ください。



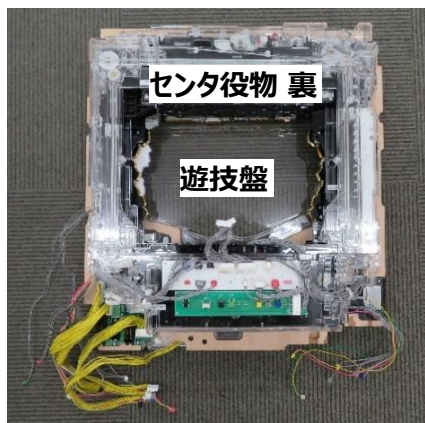
近接センサは精密部品となります。  
布等で強くこすったり  
洗剤、溶剤、薬剤(アルコール含む)は  
絶対に使用しないで下さい。  
また、アタッカASSYは絶対に分解しないで下さい。

球の通過を妨げるような異物があった場合はそれを取り除いて下さい。  
また、破損等が確認出来た場合は部品交換を行って下さい。

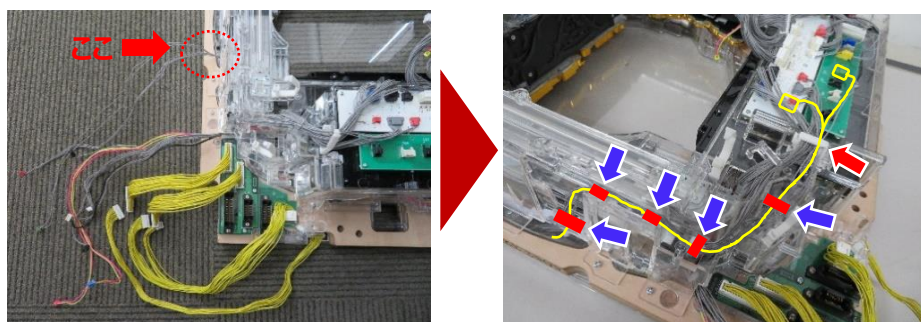
- 清掃が終わりましたら分解と逆の手順で遊技盤を組み立てるようお願いいたします。
- ハーネスを部品で挟まないように注意してください。
- ハーネスの配線順序がわからなくなった場合、  
次ページ以降の補足資料を参考に組み立てるようお願いいたします。

以上で作業完了となります。

【補足資料】組み立て時 センタ役物 裏への配線について (ハーネス配線の補足資料)

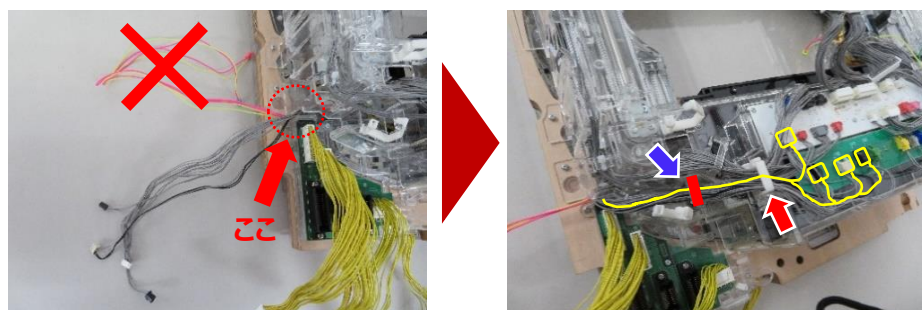


■ 遊技盤左下のハーネス2本の経路



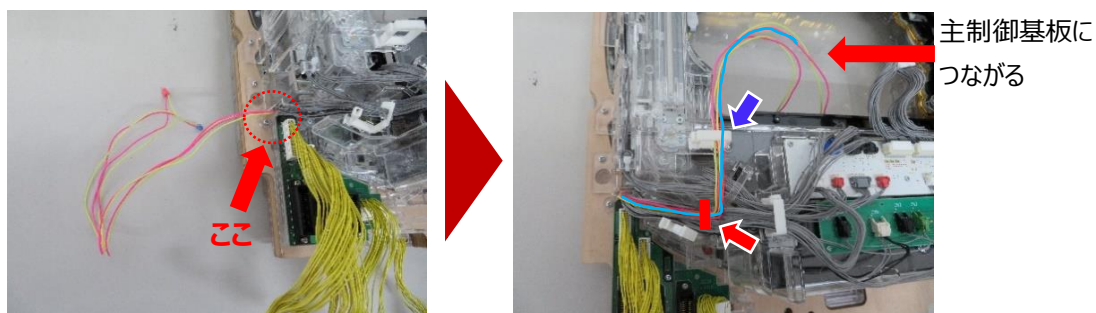
フック(5か所)に引っかけながら配線し、クランプ(1か所)に通し基板に接続する。

■ 遊技盤左下の穴から配線されているハーネス4本の経路(黄色・桃色ハーネスを除く)



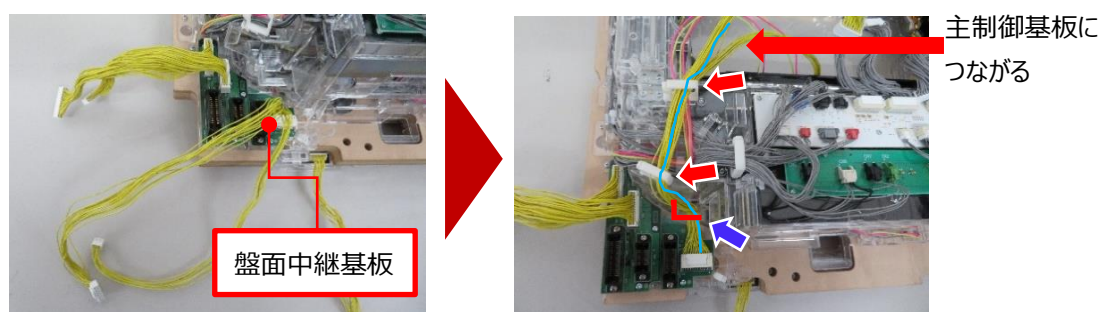
フック(1か所)に引っかけて配線し、クランプ(1か所)に通し基板に接続する

■ 遊技盤左下の穴から配線されているハーネス2本の経路(黄色・桃色ハーネス)



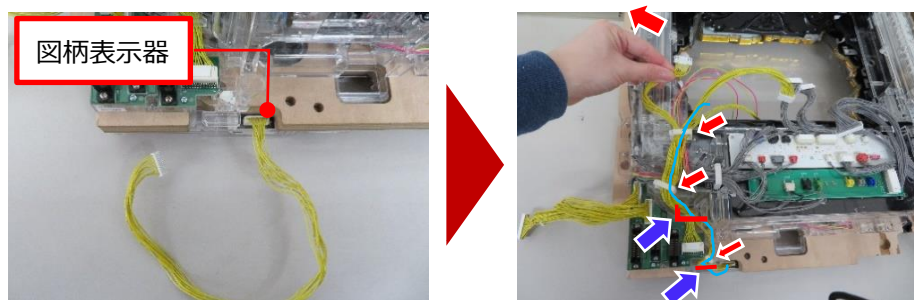
フック(1か所)に引っかけて配線し、クランプ(1か所)に通す。(接続はせずにフリーにしておく)

■ 盤面中継基板に接続されているハーネス(2股1本)の経路



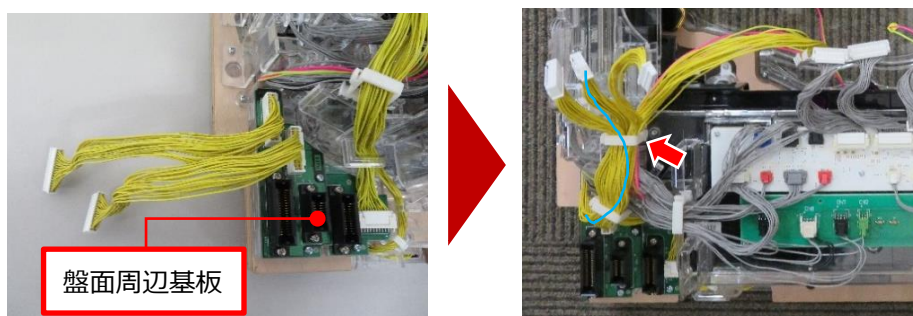
フック(1か所)に引っかけて配線し、クランプ(2か所)に通す。(接続はせずにフリーにしておく)

■ 図柄表示器に接続されているハーネス(1本)の経路



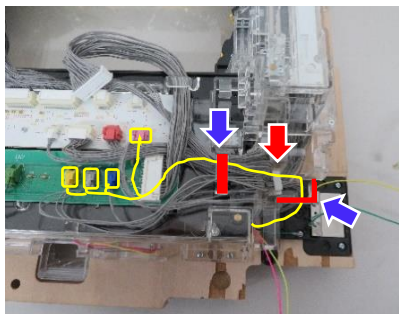
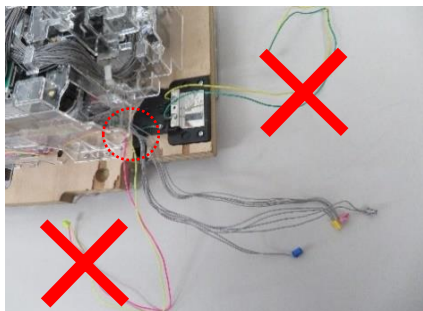
フック(2か所)に引っかけて配線し、クランプ(3か所)に通す。(接続はせずにフリーにしておく)

■ 盤面周辺基板に接続されているハーネス(2本)の経路



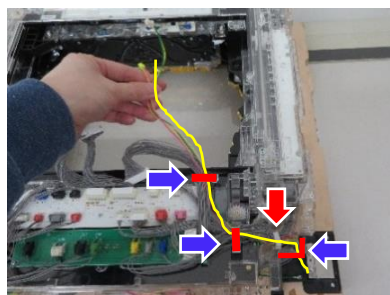
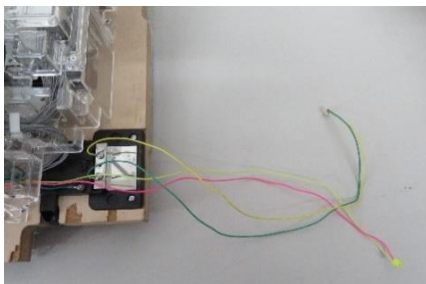
フック(2か所)に引っかけて配線し、クランプ(3か所)に通す。(接続はせずにフリーにしておく)

■ 遊技盤右下のハーネス4本の経路



フック(2か所)に引っかけて配線し、クランプ(1か所)に通し基板に接続する

■ 遊技盤右下のハーネス2本の経路



フック(3か所)に引っかけて配線し、クランプ(1か所)に通し基板に接続する

以上となります。